

資料4-1

科学技術・学術審議会産業連携・地域支援部会
第10期地域科学技術イノベーション推進委員会
(第1回)
R2.2.20

第10期地域科学技術イノベーション推進委員会 審議ポイント (案)

前期の本委員会報告書を踏まえ、ニーズプル型の「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決 (Design-i)」が令和元年度から開始したが、平成28年度に開始した、シーズプッシュ型の「地域イノベーションエコシステム形成プログラム」は、令和2年度以降、順次事業期間の満了を迎える。

令和3年度より、第6期科学技術基本計画が新たにスタートするが、新計画の下で進めていくべき地域科学技術振興施策の在り方について、特に地域における持続的なエコシステム形成のため各プレイヤーが果たすべき役割及びそれを実現するために必要な支援の内容に着目して議論する。

(1) 地域における科学技術イノベーション創出の意義は？

【例】

- ・地域の経済発展、地域の核となる新産業の創出やそれに伴う雇用の創出
- ・地域が抱える社会課題の解決 (例：介護人材の不足、公共交通機関の撤退、農業の担い手不足)
- ・その他 (例：地方大学の魅力向上、地域イメージの刷新・向上、地域における科学技術活用の障壁除去)

(2) 地域において科学技術イノベーションを起こすための具体策は？

① 科学技術イノベーションを起こすために、地域の主要なプレイヤーが果たすべき役割は？

【例】

自治体：地域の現状把握・課題発見、大学等のシーズと企業ニーズのマッチング、研究成果を実験・実装するフィールドの提供、好事例の共有

大学：シーズの創出・提供、研究機器の共用、次世代の研究開発を担う人材の育成

企業：ニーズを踏まえた研究開発の実施、大学におけるシーズの研究に対する投資、市場調査・知財調査等の実施

金融機関：社会実装・事業化に向けた経営支援、研究開発に必要な資金の提供、市場調査の実施

国(文科省)：研究開発の支援、大学等の知を広めるためのシーズの社会実装の支援他省庁の施策との連携、成功事例の創出を通じた政策誘導

② 地域における科学技術イノベーションのために何が必要か？課題は何か？

(今までの地域科学技術振興施策(特に、地域イノベーションエコシステム形成プログラム)における課題は何か?)

【例】

- ・人材(例:地域のビジョンを示すリーダー、産学官をつなげるコーディネーター、中長期的な戦略プランを実現するためのマネージャー)
- ・資金
- ・中長期的な戦略プラン

③ 地域におけるイノベーションエコシステムの構築のために何が必要か？課題は何か？

※イノベーションエコシステムとは？

「行政、大学、研究期間、企業、金融機関などの様々なプレーヤーが相互に関与し、絶え間なくイノベーションが創出される、生態系システムのような環境・状態」(第9期地域委員会報告書抜粋)

【例】

- ・長期ビジョン、戦略プラン
- ・地域外の研究シーズの探索、呼び込み
- ・資金